

佐賀空港へのオスプレイ等の配備計画に関する柳川市の論点整理について

意見等申出書

2017年7月20日

柳川市長 金子 健次 様

住所
氏名
電話番号

〒
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]

「佐賀空港へのオスプレイ等の配備計画に関する柳川市の論点整理について
(素案)」に対し次のとおり意見を提出します。

ページ 意見等の該当箇所 意見等の概要

論点1 米軍の佐賀空港利用について

- ① 現時点で、米軍基地化することはないといっても、国際情勢の変化により軍事基地化することは十分にあり得ることから、それを踏まえての対応をすべきではないでしょうか。
- ② 駐屯地が整備されれば、近い将来、米海兵隊の訓練が日常化することは十分に予測できることですから、騒音による被害や事故による危険性を視野に入れての対応が必要だと思います。

論点2 オスプレの安全性について

- ① 沖縄におけるオスプレイの不時着水事故について、事故の当事者である米国から調査報告が提出されていないとか、もし提出されても、防衛省の説明の範囲内であるとか・・・で済ませるのでなく、毅然として対応していただきたいです。



- ② 防衛省が、オスプレは安全な機体だと評価していること自体が、大きな問題ではないでしょうか。今後もし、市内の民家に墜落するような事故があったら、どのように対応されますか。
- ③ 悪天候時におけるオスプレイの飛行について、危険であると予測されるのであれば、当面はそのことについての申し入れを緊急にすべきではないでしょうか。

論点3 騒音の生活環境への影響について

当面は、騒音による生活環境の悪化が問題になるでしょう。柳川でも、訓練機らしきもの？が上空を通過したとき、硝子窓がガタガタ鳴るような振動を感じたことがあります。

オスプレイが頻繁に離着陸訓練をするようになり、それが日常化することになったら、生活環境が悪化するのは必至です。

論点4 騒音による漁業への影響について

「調査事例がないから云々」ではなく市として調査をし、その結果を踏まえての対応をして下さい。

論点5 下降気流による漁業への影響について

「事例の報告がないことを確認・・・」で済ませていいのでしょうか。

論点6 電波等による漁業への影響について

「電波法や自衛隊法の関係規則に基づく手続きにおいて、民間の無線通信等に影響を与えないことを確認した」とのことですが、もしも影響がでた場合は、どう対応されるのでしょうか。

論点7 自衛隊機や駐屯地からの油流出の対策について

防衛省が考えている適切な対策とは、どのような内容なのでしょうか。

論点8 騒音による農漁業への影響について

「基準がないため評価できない」ではなく、佐賀県に問い合わせ、空港周辺の農漁業や畜産業の人たちの「声」を聴く必要があると思いますが・・・

論点9 下降気流による農業への影響について

「事例がないことを確認した」とのことですが、農家の人たちを対象にした調査をされたのか、それとも佐賀県に問い合わせられたことによるものでしょうか。

論点10 観光都市としての発展への影響について

白秋をはじめとする文人たちの碑や掘割を長閑に行き来するどんこ船などに安らぎを求めてくる人たちの想いが、飛来する飛行機の騒音で碎かれるのではないかとの懸念があります。

論点11 佐賀空港が攻撃の対象になることについて

「国防政策の有効性について評価する立場にない」で済ませるのでなく、市民の安全安心の暮らしを守るために可能なかぎりの手立てを講じて下さるよう、切望します。

戦後72年間続いてきた平和を護り、農業や漁業や観光によって支えられている私たちの暮らしを守り、子どもたちにゆたかな未来を手渡すために、市として可能なかぎりの対策を講じて下さるよう切望いたします。